

複合腐食試験機

機器の概要

部材・部品及びめっき・塗装などの表面処理を施した製品に連続的に塩水を噴霧し、腐食に対する耐久性（耐食性）を評価する装置です。

また、塩水噴霧試験に乾燥試験、湿潤試験、冷却試験、外気導入試験、塩水浸漬試験を組み合わせた複合サイクル試験も実施可能です。

主な仕様

- ・対応規格例
 JIS Z 2371「6.2 中性塩水噴霧試験」
 JIS H 8502「8.1 中性塩水噴霧サイクル試験方法」
 JIS C 60068-2-52「9.4 厳しさ(3)から(6)」
- ・試験槽内寸法：W1,100mm × D600mm × H1,000mm
- ・耐荷重：50 kg
- ・試験片設置可能枚数：120枚（150mm × 70mm × 1mm）

活用事例

- ・自動車部品等の**高耐食性評価**
- ・めっき、塗膜等の**防食性能評価**

<試験例>

塗装仕様検証のためのサイクル腐食試験

- ・各種仕様で塗装した試験片を垂直方向に対して、20度等の傾きで設置し、試験を実施します。
- ・試験後の塗膜の膨れ具合や剥がれ具合から塗膜の耐久性を比較・検証できます。



メーカー：板橋理化工業(株)
 型式：TQ-2FS



試験槽内部の試験片の様子
 写真提供：板橋理化工業(株)



—発信します 明日を拓く 確かな技術—

栃木県産業技術センター
 Industrial Technology Center of Tochigi Prefecture

